

令和6年度当初予算編成方針

令和6年度当初予算編成方針のポイント

○ 「日本一挑戦プロジェクトの本格展開」に向けた対応

- 「日本一挑戦プロジェクト推進基金(仮称)」(令和6～8年度)を設置し、必要な財源を確保

○ 「宮崎再生の着実な推進と次なる成長活力の創出」に向けた対応

- 宮崎再生基金の活用により、必要な財源を確保

○ 新規・改善事業における多様な人材の活躍に向けた対応

- 女性や外国人、障がい者など多様な人材の活躍に向けた施策の充実・強化に対して、特別枠を設定

<今後のスケジュール(予定)>

・知事査定 令和6年1月中旬

・予算案発表 令和6年2月上旬

令和6年度当初予算編成方針の概要

予算編成の基本的な考え方

(1) 重点施策の推進等

- 「令和6年度重点施策の推進方針」に基づき、効果が高い施策を構築し、成果を検証
- 「日本一挑戦プロジェクト推進基金（仮称）」（令和6～8年度）を設置

(2) 政策推進のための財政の健全性の確保

- 優先度の高い施策等を推進するため、多額の財政負担が見込まれる事業は、将来にわたる負担の平準化を図るべく、市町村や関係団体等との適切な連携・役割分担を考慮の上、総額の抑制を図り、計画的に予算計上

(3) 年間予算としての編成

- 現行制度等に基づき見込み得る年間予算を編成。なお、自然災害対策や物価高対策など、真にやむを得ないものについては、適時に補正予算を編成

全般的事項（予算要求限度額①）

○ 原則：令和5年度当初予算額の範囲内 例外：以下に掲げるもの

(1) 3つの日本一挑戦プロジェクト推進のための事業に要する経費

➡ 別途要求

(2) 宮崎再生の着実な推進と次なる成長活力の創出のための事業に要する経費

➡ 別途要求

(3) 新規・改善事業に要する経費

➡ 事務事業の見直し結果を踏まえ、各部局に提示した要求限度額の範囲内
（多様な人材の活躍推進に資する増分は別途要求）

(4) 老朽化対策を含む施設の維持管理等に要する経費

➡ 別途要求

全般的事項（予算要求限度額②）

(5) 公共事業費（事務費を含む。）

① 補助公共事業費（交付金事業を含む。）

➡ 所要額

② 県単独公共事業費のうち、維持管理経費分

➡ 所要額

③ 直轄事業負担金のうち、高速道路分

➡ 内示見込額

④ 災害復旧事業費

➡ 過去の実績を考慮した額

⑤ 国土強靱化対策と一体的に実施する県単独公共事業費

➡ 令和5年度6月補正予算額の範囲内

全般的事項（事業構築に当たっての留意事項）

➤ 新規・改善事業の構築に当たっては、スクラップ・アンド・ビルドを徹底し、特に以下の点に留意

① 事務事業の見直しにおいて確認した課題等の分析に基づき事業を構築

② 事業の成果を検証するため、事業と関連性の高い指標（KPI）を設定

歳入に関する事項

➤ 市場公募債の発行について、共同発行形式によるグリーンボンド（グリーン共同債）への参加検討

➤ 企業版ふるさと納税等の寄附の積極的な活用による収入確保

歳出に関する事項

➤ 施設の維持管理や車両の更新等に当たっては、環境負荷と長期的コストの低減を意識

<今後のスケジュール（予定）>

・知事査定 令和6年1月中旬

・予算案発表 令和6年2月上旬

令和6年度重点施策の推進方針

本県を取り巻く様々な課題

少子高齢・人口減少

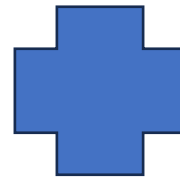
物価高騰等

デジタル化
脱炭素化

など



2年目となる総合計画アクションプランの積極的な展開



令和6年度 重点施策の推進方針

日本一挑戦プロジェクト
の本格展開

宮崎再生の着実な推進と
次なる成長活力の創出

子ども・若者プロジェクト

【目指す姿】

日本一生み育てやすい県への挑戦！

～県・市町村一丸となって、子ども・若者政策の好循環を創出し、人口減少を抑制～

【取組の柱と方向性】

1 出逢い・結婚の希望を叶える

▶ 出逢い・結婚支援の強化



2 子どもがほしい人の希望を叶える

▶ 第2子以降の希望を後押しする施策等の展開

(6月補正) おむつのサブスク、妊産婦健診支援 等



3 安心して子育てできる教育環境をつくる

▶ 様々な環境の子どもを支え、夢や希望を後押しする教育環境の整備

(6月補正) 高校生の海外留学支援 等

【主な指標 (R8目標)】

◎合計特殊出生率 1.63 (全国2位) ⇒ 1.8台 (全国1位)

◎婚 姻 数 3,805組 ⇒ 4,500組以上

グリーン成長プロジェクト

【目指す姿】

再造林率日本一への挑戦！

～再造林を核としたゼロカーボン社会と地域資源を活用した産業成長の実現～



【取組の柱と方向性】

1 循環型林業の推進～CO2吸収と山地災害防止



- ▶ 産学官・県民が一丸となった再造林に係る“宮崎モデル”の構築
(9月補正) J-クレジット申請支援

2 循環型農水産業の推進

- ▶ 地域資源を最大限活用する宮崎らしい取組の構築
(6月補正) 官民連携によるプラットフォーム創設 等



3 脱炭素化による成長の実現

- ▶ 各産業部門の脱炭素経営の推進
(6月補正) 県内事業者省エネ設備導入支援 等



【主な指標 (R8目標)】

※1 素材生産50万㎡以上の林業県/H30-R2平均
※2 牧草など牛のエサ

◎再造林率 73% (全国3位) (※1) ⇒ 90%以上 (全国1位)

◎粗飼料 (※2) 自給率 88% ⇒ 100%



スポーツ観光プロジェクト

【目指す姿】

スポーツ環境日本一への挑戦！

～スポーツ環境の充実により、地域経済の活性化、観光振興などの好循環を創出～



【取組の柱と方向性】

1 世界レベルのキャンプ・大会の戦略的な誘致

▶ 競技別部会、ワンストップ窓口等による誘致・受入体制の強化



2 戦略的・計画的なハード整備

▶ スポーツ施設整備計画による施設の高質化

(6月・9月補正) 総合運動公園整備 (木の花ドーム・テニスコート) 等



3 県内全域のスポーツ環境の充実 (全県化・通年化・多種目化)

▶ 県・市町村のネットワーク強化 等

【主な指標 (R8目標)】

◎7° チームキャンプ数 (野球・サッカー・ラグビー) 32チーム (全国2位) ⇒ 43チーム以上 (全国1位)

◎春季キャンプ・合宿の経済効果 118億円 ⇒ 150億円

宮崎再生の着実な推進と次なる成長活力の創出

【取組の柱と方向性】

1 県民生活・経済活動の早期回復

- ▶ 県民生活の安定化に向けた物価高騰等対策
- ▶ 困難を抱える人への支援強化 など



2 更なる交流拡大・活性化

- ▶ 国際・経済交流による海外からの活力の取り込み強化
- ▶ 陸海空の交通・物流ネットワークの構築 など



3 人口減少への対応と新たな時代に対応した産業づくり

- ▶ 女性・若者の県内定着、U I J ターンの促進
- ▶ 技術者・デジタル人材、半導体関連人材など産業人材の確保・育成
- ▶ 暮らし・産業のデジタル化・DXの推進 など

